



通信

HP 学校だより
R6. 5. 22
NO. 9
文責 伊藤美佳



学区大運動会を終えて

18日（土）に豊坂小学区大運動会を開催しました。当初より真夏日予想がされており、暑さを心配しましたが、日差しは強いものの湿度は高くなく安心して演技をすることができました。

朝、いつものように学校前の横断歩道に立っていると、子どもたちのあいさつの声がひととき大きく、見守り隊の方にも「今日は、子どもたちのあいさつから気合いを感じるね」と言っていただきました。普段から子どもたちのあいさつで、その日の心の状態や気分を感じとれる日がありました。いつも元気なあいさつをする子が、下を向いたり、声が小さかったりすると「元気ないな」と感じて声をかけることもできます。だからこそ、子どもたちに「元気な声であいさつしよう」と伝えています。あいさつは、他の人に自分の心の状態を知らせる大切な役割もあると知ってもらえるといいです。

朝早くからスポーツリーダーの皆さんや先生方が準備をしてくれ、開会式は時間通りに行うことができました。今年度は、開会式で町長様にごあいさつくださり、合併70周年記念の年であることを感じました。

最初の種目は各学年の徒競走です。3、4年生、1、2年生、5、6年生の順で行いました。今年度、ピストル音が怖いと感じる子に配慮して、電子ピストルを導入しました。音が小さく、本部まで聞こえてはきませんでした。どの子も怖がらずにスタートできてよかったです。また、昨年までは順位を点数化して対抗戦としていましたが、集計するまで子どもたちを待たせることから、今年度からは点数化をやめて、スムーズな進行を優先しました。点数化しなくても真剣に走る姿は、胸を打つものがあります。子どもたちの一生懸命な姿をたくさん見ることができて、幸せな気持ちになりました。

次の種目は各学年部の演技です。各学年部の発達段階に合わせて、「笑顔で楽しく踊る1、2年生」「体を大きく使って凛々しく踊る3、4年生」「仲間と協力して創り上げる喜びを体現する5、6年生」を学区の皆さんに見ていただくことができました。中にはうまく踊れなかった、移動がうまくいかなかった、演目を失敗してしまったなど、「失敗した」と思う子もいたでしょう。でも、それは失敗ではなく、成功への第一歩だと考えて前に進んでくれると信じています。

全校種目の大玉送りは、昨年也大いに盛り上がりました。今年度は、赤の勝利で幕を閉じましたが、6年生が知恵を絞って作戦を考え、他の学年の子どもたちに指示を出す様子を見るだけでも意義があります。6年生が最高学年としての自覚をもつためには、とても重要な種目です。毎年、6年生の成長がこの場面で見られることはうれしい限りです。

最後に、学区の皆さんと踊る「新幸田音頭」です。「会場にいる人みんなで踊りましょう」と呼びかけたら本当に多くの方が踊ってくださる豊坂学区の温かさを象徴する瞬間でした。来年度もぜひ皆さんとともに踊れることを楽しみにしています。

保護者、学区の皆さんと子どもたちの頑張りを直接見て、感動を共にできる、そんな時間を過ごすことができたことに感謝いたします。